



# 学校だより

平成29年10月27日

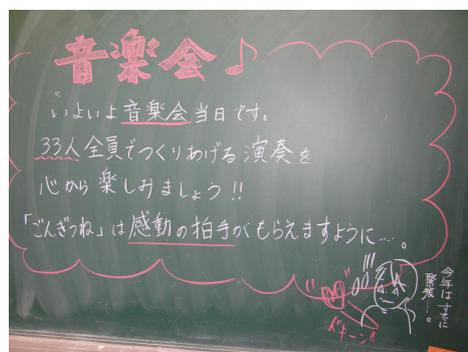
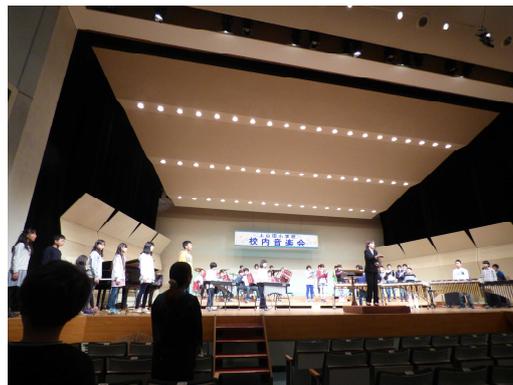
## ホールいっぱい響いたハーモニー！音楽会！！

20日（金）に校内音楽会が行われました。

当日は、保護者の皆様、来賓の皆様など、たくさんの方々に来ていただき、あたたかい拍手をいただき、ありがとうございました。

9月の末から音楽会に向けての特別時間割での練習が始まりました。

秋の歌をメドレーで歌い、演奏した1年生。きのこの歌の振り付けがとてもかわいかったですね。歌は元気に楽しく、そしてきれいに歌えていました。仲間と共に旅に出たシンドバットの様子を歌い、演技し、踊った2年生。「本気で」の気持ちがお家の人に届いたと思います。初めての合唱、初めてのリーダーに挑戦した3年生。気持ちを一つにして演奏し、歌うことができました。歌詞の意味を一人一人が考えたり、お互いの音を聞きあったりしながら練習をしてきた4年生。自分をここまで育ててくれた家族や周りの人たちに感謝の気持ちが伝わったと思いました。4年生の時に「ごんぎつね」の学習を深めたからこそ表現することができた5年生。子どもたちの演技、歌声に多くの方が涙していました。最後の音楽会となった6年生。合奏は難しい拍の曲を見事に演奏しました。合唱曲「最後の一步 最初の一步」は、6年生の歌声によって5ヶ月後の卒業のシーンが浮かんできました。また、「HEIWAの鐘」には平和への思いがこもっていました。どちらの曲も6年生の一生懸命の姿が感動をよびました。また、教室には、右の写真のような子どもたちへメッセージが送られていました。子どもたちと先生の絆を感じました。



とても感動的で素敵な音楽会となりました。保護者の皆様には、練習段階、音楽会当日とご協力いただき、ありがとうございました。特に、望月父母教師会長様をはじめとする役員の皆様には、斉唱「千曲市歌」への参加、音楽会のお手伝いありがとうございました。

なお、感動的な音楽会の模様がケーブルネット千曲で11月11日（土）の10：00～と21：00～放送されます。ご覧ください。

## 初めての試み Jアラート避難訓練

12日（木）に、Jアラートがなつたと想定した避難訓練を行いました。このような訓練を行わなければならないことは心外なのですが、現在の状況を鑑みれば、行うことが「安心・安全」を第一に考える学校として重要なことと考え、初めて取り組みました。

本校では、授業中にJアラートが鳴った場合、1・2・4年生は体育館ステージ下倉庫へ、また、3・5・6年生はスタジオへ避難することとしました。当日は、Jアラートを鳴らし、

それぞれの場所へ安全に速やかに避難する訓練をしました。

初めての試みでしたが、子どもたちは真剣に取り組んでいました。訓練したことによって、子どもたちは、いざという時に、迷うことなく、落ち着いて行動することができると思います。

なお、本校では、8月29日付けの「校長通信」で弾道ミサイル発射時の対応について示されております。ポイントを再度掲載します。

- (1) 学校にいる場合は、訓練した方法で避難します  
(避難場所に非常用飲料水も全児童分確保してあります。右の写真参照)。
- (2) 登下校時・外出時は、「近くの頑丈な建物に逃げ込む」「頑丈な建物がない場合は、どの家でもよいので逃げ込ませてもらう」「全く建物がなかったら、物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭を守る」「口と鼻をハンカチで覆う」です。
- (3) 登校直前にJアラートが鳴った場合は、各家庭で登校を控えるようにしてください。



↑ 避難の様子      ↓ 非常用飲料水



## 地域の方のおかげでいきる学校

22日(日)～23日(月)に、台風21号が接近し、学校は臨時休校となりました。23日の朝、田んぼに行ってみると、雨で日影沢が氾濫し、5年生が米づくりを行っている田んぼが水浸しとなり、ハゼが転んで、稲は泥だらけでした。その傍らで、今後のことを思案していらっしゃる北川泰男さんがいらっしゃいました。

米づくりでお世話になっている北川さんは、22日にも水を見に来てくださり、水が溢れないように側溝を外したり、ゴミ等をとったりしてくださいました。

しかし、違うところから水が入り込み、先ほどのような惨状となりました。午後、田んぼの持ち主の鎌原賢治さんが来校し、今後のことについて話されました。その中で、「稲がぬれている今、水で洗い流せばなんとかなる。」と教えてくださいました。そこで、北川さんに連絡したところ、すぐに高圧洗浄機をもって来校されました。そして、北川さん、鎌原さん、校長先生、立花先生で暗くなったあとも稲を洗って、フェンスにかけてくださいました。おかげで、稲の泥を落とすことができました。北川さんや鎌原さんのように、学校のこと、子どもたちの学習を気にかけて、すぐに協力してくださったおかげで、5年生がつくった稲はきれいになって、学校のフェンスにかかっており、収穫の日を待っています。

また、31日(火)に行われるマラソン大会に際し、安全指導のボランティアを募ったところ、南沢早苗さん、合津友彌さん、田嶋啓治さん、宮島信明さん、児玉和子さん、望月則男さん、北川泰男さんから協力の申し出がありました。これらの方々のおかげで、子どもたちは安心してマラソン大会に臨むことができます。

このように、上山田には、「子どもたちのために」「学校のために」と考え、実際に行動してくださる方がいらっしゃいます。大変ありがたいことです。



稲を洗う地域の方と先生方